

「富田林市立幼稚園の現状と今後の方針について（素案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

①パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間 令和6年10月1日（火）～令和6年11月5日（火）
- (2) コメントの状況 提出数103通、コメント数155件
(オンライン67通、メール2通、持参28通、FAX4通、郵送2通)
- (3) コメントにより修正した箇所 なし

②パブリックコメントでいただいたコメントと市の考え方

コメントの要旨	市の考え方
◆幼稚園の存続を希望	
教育内容を充実させて幼稚園を存続したらどうか 【11件】	平成29年2月に幼保あり方検討委員会から「幼稚園の統合により生まれる人材を活用し、早期に3年保育を実施する…」との提言をいただきましたが、タウンミーティング等で寄せられたご意見をもとに、保護者のみなさまからニーズの高い「3年保育」「預かり時間延長」「給食の提供」などに先行して取り組み、教育内容の充実を図ってまいりました。一方で、集団の確保ができていないという課題や10園が稼働していることによる財政面での課題が解決には至っておらず、市立幼稚園の総量を減少する必要があると考えています。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園のニーズを見極めながら検討してまいります。
公立幼稚園を残してほしい 【10件】	公の幼児教育として受け入れの場を確保した上で、引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園のニーズを見極めながら検討してまいります。
各地域（中学校区など）にある幼稚園を残してほしい 【10件】	未就学の子どもたちにとって地域とのつながりや架け橋期の施設連携は非常に重要であると考えます。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園のニーズを見極めながら検討してまいります。
〇〇幼稚園を無くさないでほしい、無くなるのは寂しい 【5件】	園児数が減少する中で子どもたちに適正規模の集団教育・保育を行うためには一定のルールに基づき園を集約する必要があると考えます。ご理解いただきますようお願いいたします。
今の少人数の状態を継続するのがよいと思う 【4件】	個々の必要に応じたていねいな個別支援に努めることはたいへん重要であると考えます。同時に、さまざまな個性を持った子どもたちに適正規模の集団による幼児教育・保育を受けることができる環境を保障することも必要であると考えます。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園・保育所のニーズを見極めながら検討してまいります。
安易に統廃合を進めるべきではない 【1件】	園児数が減少する中で子どもたちに適正規模の集団教育・保育を行うためには一定のルールに基づき園を集約する必要があると考えます。ご理解いただきますようお願いいたします。
◆ニーズに沿った方向性の検討（認定こども園化・新設）	
公立の認定こども園を設置してはどうか 【14件】	市立の認定こども園の設置につきましては、昨年3月に策定しました幼保あり方基本方針に記載しておりますように、幼児教育・保育の両方のニーズにお応えできことから、その必要性も認識しているところです。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園・保育所のニーズを見極めながら検討してまいります。
方針の先の見通しを早く示してほしい 【5件】	具体的なスケジュールにつきましては、素案にもお示ししている通り最短で令和10年度より園児募集停止とな

	る園が出た場合には令和１２年度に休園となる園があるということも考慮した上で、市としての将来像をお示ししてまいりたいと考えております。
中学校区ごとに認定こども園を設置してはどうか 【３件】	幼児教育・保育の供給量や、さまざまな市の方針との整合性の観点から、すべての中学校区に認定こども園を設置することは課題が多いと考えます。ご理解いただきますようお願いいたします。
将来まで公による幼児教育環境は必要だ 【３件】	子どもたちの最善の利益という観点で公による幼児教育は必要であると考えますことから、将来にわたって幼児教育を受けることができる環境を確保してまいります。
幼稚園を保育園に変えてはどうか 【２件】	保育園につきましては平成２２年策定の「富田林市立保育所民営化基本方針」でお示しておりますことから、この方針との整合を図りながら今後の幼稚園・保育所の方向性を検討してまいります。
幼稚園と保育園を合併して内容を充実させてはどうか 【２件】	市立幼稚園・保育所を認定こども園化することも含めまして、今後の幼稚園・保育所のニーズを見極めながら検討してまいります。
誰もが利用できる幼児教育施設にされたい 【１件】	引き続き、公の役割として、障がいのある子どもや海外につながるのある子どもを含めたすべての子どもたちとその保護者に対し、インクルーシブかつ多文化共生の観点から集団による幼児教育の保障に努めてまいります。
手厚い保育のためには小規模の幼稚園が必要ではないか 【１件】	小規模の幼稚園では、一人ひとりの子どもに教職員の目が行き届き、きめ細かな教育を提供できる反面、子ども同士が「ともに学びともに育つ機会」の減少、クラス替えができないことによる人間関係の固定化等が懸念されます。また、普段の教育活動に加え、運動会や生活発表会などの園行事等においても制約が生じ、集団の規模が大きくなる小学校への就学に向けても課題が大きいと考えています。
◆今後の方針（素案）に賛成	
現在は園児数が少なく子どもたちに集団による保育が提供できていない 【８件】	集団による幼児教育・保育の保障に努めてまいります。
幼稚園が閉園になるのは仕方がない、理解できる 【３件】	ご理解いただきましてありがとうございます。
今の園児数なら園数を減らして統合するべきだ 【３件】	市立幼稚園の園児が減少していることにつきましては早急に対応すべき課題であると認識しておりますことから一定のルールに基づき園を集約する必要があると考えます。
３年保育や給食などの取り組みが継続されることはありがたい 【３件】	これらの取り組みにつきましては、保護者のみなさまから多くの好評をいただいておりますことに加え、高い教育効果が認められると考えております。
従前のルールとの整合を図ることに賛成だ 【１件】	すでに休園となった園の地域もありますことから従前のルールと整合を図ったところです。
１０園に対して平等なので閉園になる園がでるのは仕方ない 【１件】	ご理解いただきましてありがとうございます。
◆今後の方針（素案）に反対・再検討	
１０人や２年連続などルールの基準を見直すべきだ 【４件】	東条幼稚園や板持幼稚園を休園にしてきた経緯との継続性や公平性の観点から今回の方針（素案）に至っております。また、令和４年度に実施した検証により、本市の幼稚園では１クラス当たり２０人程度が適正な規模であるという結果を得ておりますことから、その半分の１０人を下回ることが休園の基準となることにつきまして妥当性があると考えます。
少人数ならではのメリットがあるのでそのままでよい 【４件】	小規模の幼稚園では、一人ひとりの子どもに教職員の目が行き届き、きめ細かな教育を提供できる反面、子ども同士が「ともに学びともに育つ機会」の減少、クラス替えができないことによる人間関係の固定化等が懸念され

		ます。また、普段の教育活動に加え、運動会や生活発表会などの園行事等においても制約が生じ、集団の規模が大きくなる小学校への就学に向けても課題が大きいと考えています。
昨年度の案に賛成	【3件】	昨年度の案に関わる条例改正案が市議会で否決されたことを重く受け止め、より多くのみなさまに理解していただける方針を検討しました。
市立幼稚園をより充実させることを検討すべきだ	【2件】	平成29年2月に幼保あり方検討委員会から「幼稚園の統合により生まれる人材を活用し、早期に3年保育を実施する…」との提言をいただきましたが、タウンミーティング等で寄せられたご意見をもとに、保護者のみなさまからニーズの高い「3年保育」「預かり時間延長」「給食の提供」などに先行して取り組み教育内容の充実を図ってまいりました。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園のニーズを見極めながら検討してまいります。
市立幼稚園の廃止に反対する	【2件】	園児数が減少する中で子どもたちに適正規模の集団教育・保育を行うためには一定のルールに基づき園を集約する必要があると考えます。ご理解いただきますようお願いいたします。
◆園児の増加策を検討		
魅力ある園になるよう工夫すればよい	【5件】	この間、タウンミーティング等で寄せられたご意見をもとに、保護者のみなさまからニーズの高い「3年保育」「預かり時間延長」「給食の提供」などに先行して取り組み、教育内容の充実を図ってまいりましたが、引き続き魅力ある園運営を行うためには一定の集約が必要であると考えています。
バス送迎をはじめてはどうか	【3件】	休園となった園の周辺地域にお住まいの方が市立幼稚園への入園に伴いバス送迎を希望された際には、可能な範囲でご希望に沿う必要があると考えています。
子育て世代を呼び込むための補助金等を検討してはどうか	【2件】	こどもまんなかに係るさまざまな施策の中で必要性に応じて検討したいと考えています。
◆市民説明会の実施	【7件】	今回の素案につきましては、特定の園についての方針にかかわる新たな方針をお示しするものではございませんので、特定の地域を対象とする説明会は開催いたしません。保護者以外の市民の皆様方からのご意見につきましては、広くパブリックコメントでお伺いしております。
◆教職員の意見聴取・待遇改善	【5件】	市立幼稚園に関わる方針等を検討する際には、園長会等を通じて教職員の意見を聴取する機会を設けるよう努めてまいりますとともに、待遇に係る諸課題につきましても改善策を検討してまいります。
◆廃止した園の跡地の利用方法	【4件】	市立幼稚園としての機能を終えた施設の活用方法については、子育て支援に係る施設への転用や市の施策推進の財源にするなど、さまざまな有効活用について市民のみなさまのご意見も伺いながら検討してまいります。
◆行政改革の観点等から予算・税金の有効活用	【4件】	依然、本市を取り巻く財政状況が厳しい状況にありますことから、限られた財源をより有効に活用できるよう検討してまいります。
◆取り組みのスピード感	【3件】	園児数が非常に少ない状況の中で、集団による保育が実施できていない課題の解決に向け、引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園・保育所のニーズを見極めながら検討してまいります。
◆今後の通園方法の確保	【3件】	今後、公による幼児教育施設を検討する際には、バス送迎や自家用車利用など、さまざまな通園方法が選択できるよう検討する必要があると考えています。
◆その他本素案に直接関係がないと考えられるご意見	【13件】	